

全国ユニオンの08春闘

全国ユニオンの08春闘は未だ解決せず、今の季節のように梅雨の真っ只中の気配が漂っています。全国ユニオンは08春闘をたたかうにあたり、第1は改正パート法が今年の4月から施行されることを活かして均等待遇を求めよう、第2は派遣法の抜本改正を求めよう、第3は高齢者雇用安定法を活かして希望者全員の継続雇用を求めよう、という3つの柱を掲げました。この3つは言うまでもなく、春闘時だけの要求課題ではなく通念的な課題ではありますが、積極的に3つの課題を具現化している闘いを集中的にたたかおうと取り組みました。

「改正パート法」が施行された4月1日、KDDI エボルバユニオンは東京労働局・雇用均等室に「改正パート法に基づく指導・助言等に関する申告」を行いました。KDDI エボルバユニオンは改正パート法を活かし、5年間で均等待遇を実現しパートとして働きたいという08春闘要求をかかげ、会社と交渉を重ねています。

KDDI エボルバユニオンの仲間たちは、英語を共通語として韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語などで世界の230以上の国と地域を結ぶ国際電話オペレーターとして働くパート労働者（時給契約社員）です。24時間体制で、労働時間は1日6時間以内×週5日＝週28.5時間で、時給は1300～1350円で1ヶ月で約16万円。ボーナスはなく、年収は約194万円。ここから交通費、厚生年金、社会保険、税金が引かれるので、手取りは150万～160万円です。会社は交渉の場でも「経常利益は右肩上がり」と豪語しているように、売上は04年146億円、05年190億円、06年288億円と業績は上がっています。にもかかわらず、会社は●深夜手当2000円を400円に、●早朝手当、土・日出勤手当などを半額に、●契約期間1年を3ヶ月にするなど、労働条件の不利益変更を通告してきたので、2006年11月24日にKDDI エボルバユニオンが結成されました。30名の組合員は仕事に誇りと情熱をもって働ける職場の回復をめざし、08春闘を果敢にたたかっています。交渉を進めると同時に会社前での宣伝行動、労働局への申し立て、企業内産別・労組への要請、非正規センターへの要請などに取り組み、今もたたかい続けています。

派遣労働者に希望ある働き方を取り戻したい、そのためには派遣法の抜本改正を実現しなければならないという想いで、格差是正と派遣法改正を実現する連絡会を立ち上げ、昨年10月4日以降、4野党はじめ労働団体、研究者、弁護士、マスコミなど多くの人たちに呼びかけ、院内集会・シンポジウムを4回開催、「今こそ派遣法の抜本改正を」パンフレットを作成、など派遣法の抜本改正を求める取り組みをしてきました。そして職場にあつては、日雇い派遣労働者が結成したグッドウィル・ユニオン、フルキャスト・ユニオン、エムクルー・ユニオンなどで、初めての春闘をたたかいました。有給休暇を、拘束時間に対する

賃金支払いを、データー装備費・業務管理費など不透明な名目で賃金から天引きされた賃金の返還を。